

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える 核兵器廃絶国際署名スタート

「被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。」

日本被団協は「被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」をよびかけました。署名は4月1日からスタートです。長崎県原水協は4月9日長崎市内平和公園で「新しい署名」を開始します。被爆者がよびかける署名は初めてのことです。（「よびかけ」と「署名用紙」原水協通信参照）

「よびかけ」は、被爆者自らの悲惨な体験の上に、「悪魔の兵器」である核兵器の廃絶を訴え、平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人々が生き地獄を体験しないように、「生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい」と切望しており、その実現のために、核兵器を禁止・廃絶する署名への賛同をよびかけています。「核兵器を禁止し、廃絶する条約」締結を求める一点で、思想・信条・垣根を超えた幅広い協力と共同をめざし、世界数億を目指し、毎年の国連総会に提出します。地域団体で行動しましょう。



チェルノブイリ30周年バルト諸国訪問代表团
田中重光さん(長崎の被爆者)派遣募金にご協力下さい



被爆70年の運動の成果の上に、被爆体験と被爆の実相、核兵器全面禁止・廃絶の声を広げる新たな運動の展開として、チェルノブイリ事故30周年・被害者救済のための「リアニア医療基金「われらの海岸」」のよびかけにこたえ、日本原水協は、2016年5月5日～11日(予定)、福島代表や広島・長崎の被爆者、平和活動家から成る代表団を派遣します。リアニアでは30周年の記念式典(5月6日)、原爆展、集会、自治体・政府関係者との面会などが計画され、ラトビアでも原爆展が行われます。

また、両国ともに現在はNATO加盟国として、アメリカの核使用戦略に組み込まれています。代表団は、市民との対話と被爆証言、原爆展を通じて、核兵器の廃絶の世論を高め、「核の傘」と軍事同盟の危険、原発ゼロと被害者救援の取り組みについても対話と討論を広げます。

田中重光さんは被爆後71年の人生を振り返り、被爆者の願いは①再び被爆者をつくらせない、核戦争反対、核兵器全面禁止。②国家補償に基づく被爆者援護法の制定③全ての戦争被害に対して、国としての謝罪と償いをすることであり、核兵器は「人間らしく生きることも、死ぬことも許さない」絶対悪の悪魔の兵器、「戦争できる国づくり」と、原発再稼働を推し進めている安倍政治暴走の中、広島・長崎の惨禍、福島を再び繰り返させないため、最後の力を振り絞って、皆さんと共に頑張ると決意を語っています。

派遣募金にご協力ください。

2016年県原水協総会記念講演会のご案内

「核兵器禁止条約の 交渉開始実現へ新たな挑戦」(仮題)

講師 安井 正和 日本原水協事務局長

☆とき 5月14日(土曜日) 14時～15時

☆ところ 長崎市立図書館新興善メモリアルホール

〒850-0032 長崎市興善町1-1 TEL:095-829-4946

講演会終了後総会を開催します。

原水爆禁止長崎県協議会2016年定期総会 15時～16時

総会議事 活動報告・方針提案・予算、決算・役員選出

チェルノブイリ30周年バルト諸国訪問 代表团派遣募金

郵便振替 01810-8-21283

【口座】 原水爆禁止 長崎県協議会

「バルト諸国訪問代表团派遣募金」と明記してください。

※郵便振替の「控え」を領収書に代えさせていただきます。ご了承ください。

<問い合わせ先>

原水爆禁止長崎県協議会 TEL 095-895-9106

ビキニ被災62年

2016 3・1ビキニデー集会

2016年3月1日 13:00～15:30 静岡県・焼津市文化センター大ホール

頒価：700円B5版、82ページ

原水爆禁止長崎県協議会 〒850-0035 長崎市元船町5-11-402

TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102